

ネギの病害防除の徹底を！

現在、一部の地域では、ネギ葉枯病、黒斑病が多発しています。

ネギ葉枯病、黒斑病病菌は、雨滴によって病原菌が飛び散り、茎葉に感染していきます。9月は気温が高く、病害が発生しやすい条件が続く見込みです。

排水対策につとめ、薬剤散布を行いましょう。

防除対策

1. 耕種的防除（排水対策、伝染源の除去）

- (1) 多湿条件で発生しやすいので、圃場排水、風通しを良くする。
- (2) 窒素施肥量の多い圃場で多発するため、適切な肥培管理を行う。
- (3) 被害葉は圃場外に持ち出し、埋却等適切に処分する。

2. 薬剤防除

- (1) 両病害の病斑は酷似しているため、罹病部から採取した胞子の形状で同定する。判別が難しい場合は、両病害に登録のある農薬を使用する。
- (2) さび病、べと病が併発している場合は同時防除が可能な農薬を使用する。
- (3) 葉身全体、特に葉身基部に薬液が付着するように、ネギの生育量に合わせて、十分量の薬液を丁寧散布する。
- (4) 降雨後は、薬剤散布量を十分取り、展着剤を使用するなど十分薬剤が付着するように散布する。
- (5) 同一薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。



ネギ黒斑病菌の分生子



ネギ葉枯病菌の分生子

主な防除薬剤

薬剤名	黒斑病	葉枯病	さび病	べと病	FRACコード
ジマンダイセン水和剤	◎		○	◎	M3
アミスター20フロアブル	◎	◎	◎	◎	11
ストロビーフロアブル	◎		◎		11
オンリーワンフロアブル	○		◎		3
ヨネポン水和剤	○		○	○	M1
プロポーズ顆粒水和剤		◎		◎	M5、40

◎印は防除指針掲載薬剤、○印は登録があることを示す

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい